

# 平成29年度第3回市政モニターアンケート結果

## テーマ「市民協働のまちづくりについて」

- (1) 対象 市政モニター 149人
- (2) 回答者数 134人
- (3) 実施期間 平成30年2月9日から2月26日まで
- (4) 目的 相模原市では、平成26年3月に市民協働推進基本計画を策定し、平成31年度までの6年間を計画期間として、計画期間の目標である「連携強化による更なる協働の推進」を目指すため、6つの基本施策を展開しております。  
本調査は、皆様の日頃の活動や協働のまちづくりに対する意識をお伺いし、平成32年度を初年度とする次期計画策定の参考とさせていただくため、アンケートにご協力いただきました。

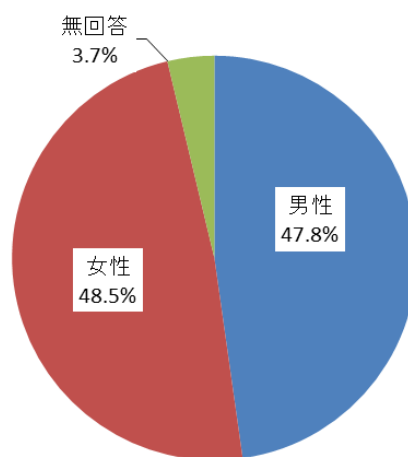
表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

### 【基本的項目についてお伺いします】

問1 あなたの性別をお伺いします。(回答は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

選択肢	回答数	回答分布
1	64	47.8%
2	65	48.5%
無回答	5	3.7%
合計	134	100.0%



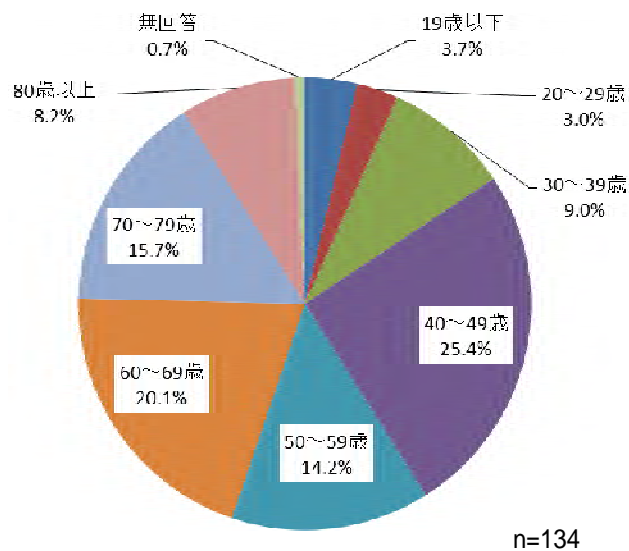
n=134

回答された方の性別は以上のとおりです。

問2 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

1	19歳以下	4	40～49歳	7	70～79歳
2	20～29歳	5	50～59歳	8	80歳以上
3	30～39歳	6	60～69歳		

選択肢	回答数	回答分布
1	5	3.7%
2	4	3.0%
3	12	9.0%
4	34	25.4%
5	19	14.2%
6	27	20.1%
7	21	15.7%
8	11	8.2%
無回答	1	0.7%
合計	134	100.0%

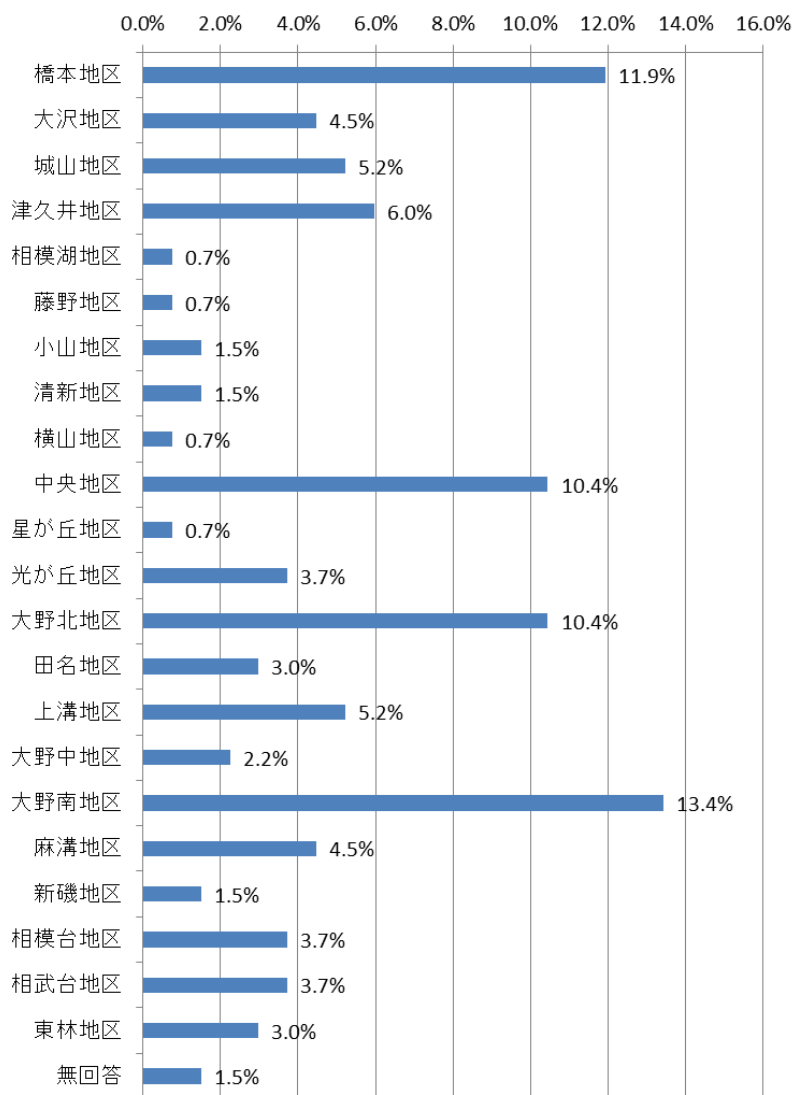


回答された方の年齢層は以上のとおりです。

問3 あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

1 橋本地区	7 小山地区	13 大野北地区	19 新磯地区
2 大沢地区	8 清新地区	14 田名地区	20 相模台地区
3 城山地区	9 横山地区	15 上溝地区	21 相武台地区
4 津久井地区	10 中央地区	16 大野中地区	22 東林地区
5 相模湖地区	11 星が丘地区	17 大野南地区	
6 藤野地区	12 光が丘地区	18 麻溝地区	

選択肢	回答数	回答分布
1	16	11.9%
2	6	4.5%
3	7	5.2%
4	8	6.0%
5	1	0.7%
6	1	0.7%
7	2	1.5%
8	2	1.5%
9	1	0.7%
10	14	10.4%
11	1	0.7%
12	5	3.7%
13	14	10.4%
14	4	3.0%
15	7	5.2%
16	3	2.2%
17	18	13.4%
18	6	4.5%
19	2	1.5%
20	5	3.7%
21	5	3.7%
22	4	3.0%
無回答	2	1.5%
合計	134	100.0%



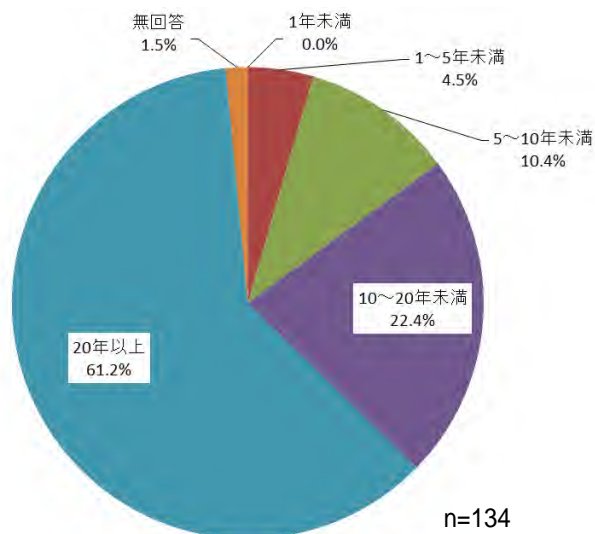
n=134

回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

問4 あなたは相模原市に住んで何年になりますか。(回答は1つ)

1	1年未満	4	10～20年未満
2	1～5年未満	5	20年以上
3	5～10年未満		

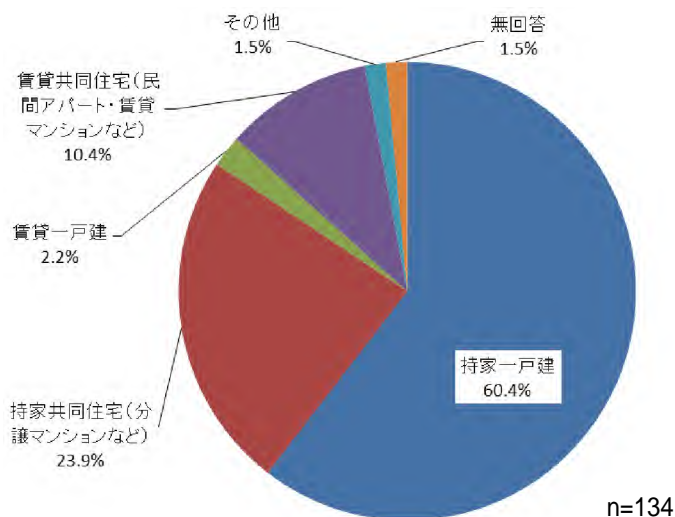
選択肢	回答数	回答分布
1	0	0.0%
2	6	4.5%
3	14	10.4%
4	30	22.4%
5	82	61.2%
無回答	2	1.5%
合計	134	100.0%



問5 あなたのお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(回答は1つ)

1	持家一戸建
2	持家共同住宅(分譲マンションなど)
3	賃貸一戸建
4	賃貸共同住宅(民間アパート・賃貸マンションなど)
5	その他( )

選択肢	回答数	回答分布
1	81	60.4%
2	32	23.9%
3	3	2.2%
4	14	10.4%
5	2	1.5%
無回答	2	1.5%
合計	134	100.0%

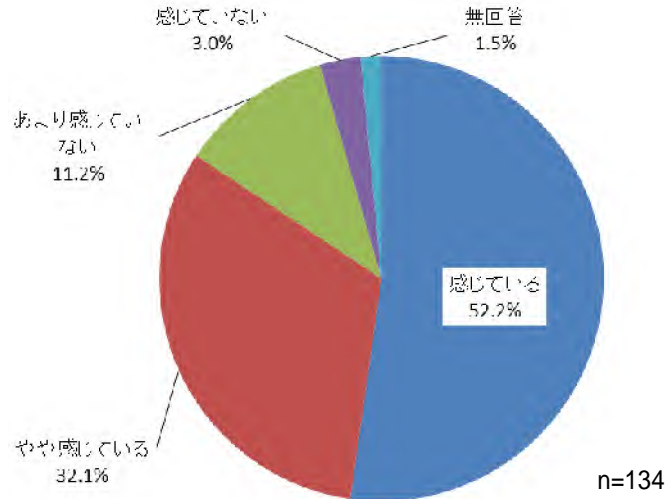


## 【シビックプライド（地域への愛着や親しみ）について】

問6 あなたはお住まいの地域に愛着や親しみを感じていますか。（回答は1つ）

1 感じている	} (問7へ)	3 あまり感じていない	} (問8へ)
2 やや感じている		4 感じていない	

選択肢	回答数	回答分布
1	70	52.2%
2	43	32.1%
3	15	11.2%
4	4	3.0%
無回答	2	1.5%
合計	134	100.0%



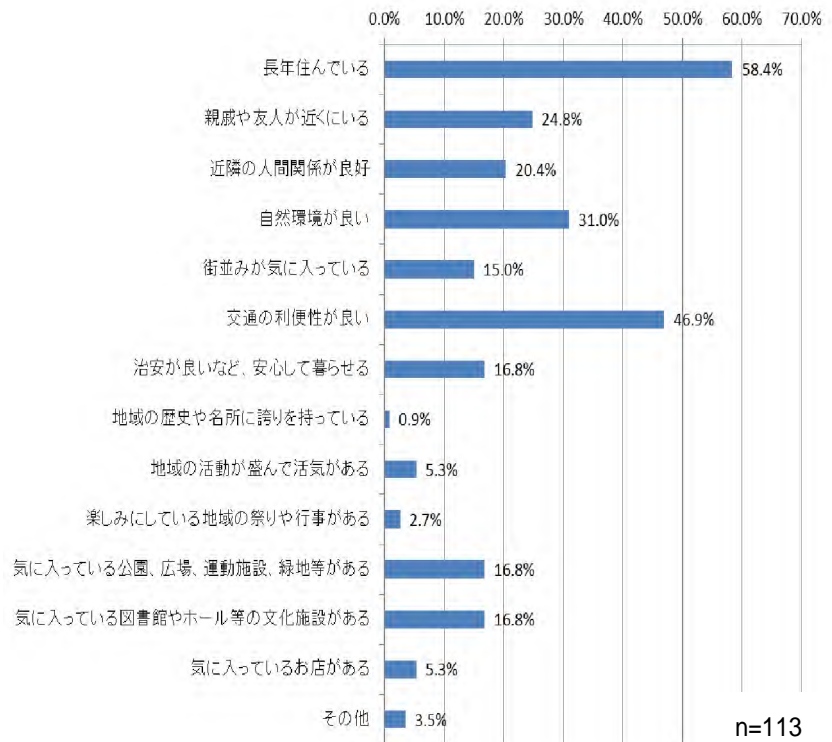
住んでいる地域に愛着や親しみを感じているかについては、「感じている」が52.2%、「やや感じている」が32.1%。「あまり感じていない」が11.2%、「感じていない」が3.0%となり、大別すると、愛着や親しみを感じている層は84.3%、感じていない層は14.2%という結果となりました。

問6で、「1 感じている」又は「2 やや感じている」とお答えの方

問7 愛着や親しみを感じている理由は何ですか。（回答は主なものを3つ以内）

- 1 長年住んでいるから
- 2 親戚や友人が近くにいるから
- 3 近隣の人間関係が良好だから
- 4 自然環境が良いから
- 5 街並みが気に入っているから
- 6 交通の利便性が良いから
- 7 治安が良いなど、安心して暮らせるから
- 8 地域の歴史や名所に誇りを持っているから
- 9 地域の活動が盛んで活気があるから
- 10 楽しみにしている地域の祭りや行事があるから
- 11気に入っている公園、広場、運動施設、緑地等があるから
- 12気に入っている図書館やホール等の文化施設があるから
- 13気に入っているお店があるから
- 14 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
1	66	58.4%
2	28	24.8%
3	23	20.4%
4	35	31.0%
5	17	15.0%
6	53	46.9%
7	19	16.8%
8	1	0.9%
9	6	5.3%
10	3	2.7%
11	19	16.8%
12	19	16.8%
13	6	5.3%
14	4	3.5%



問7 「14 その他」記入欄意見

「故郷」と認識している

総合スーパーが有り、買い物が便利

自治会の人達がボランティアで下校時等、見守りをしてきている

運動関係の恩師、先輩、後輩、長年の関係があるから

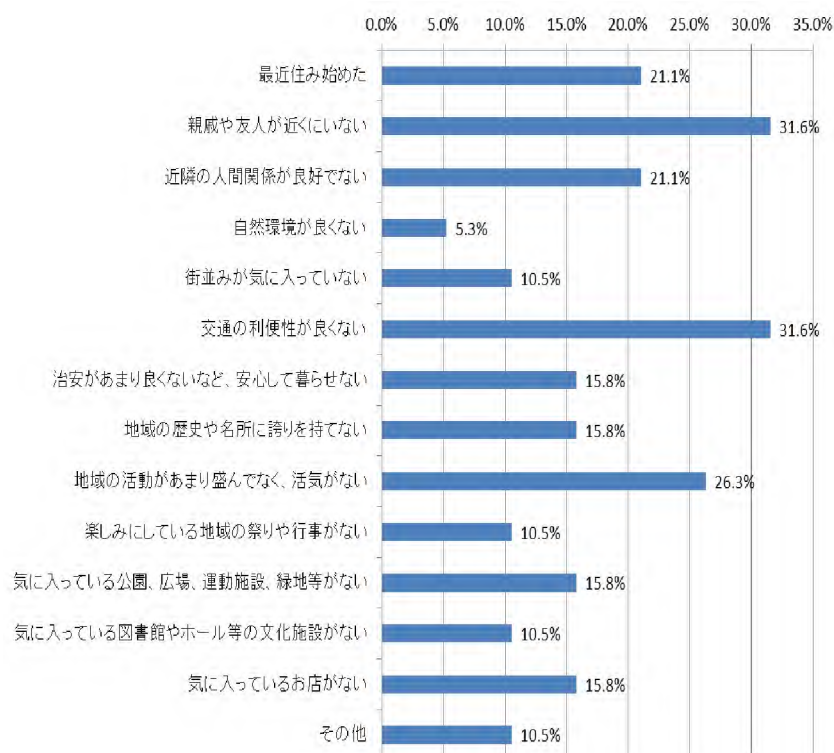
愛着や親しみを感じている理由については、「長年住んでいるから」が58.4%と最も高く、次いで「交通の利便性が良いから」が46.9%、「自然環境が良いから」が31.0%という結果となりました。

問6で、「3 あまり感じていない」又は「4 感じていない」とお答えの方

問8 愛着や親しみを感じていない理由は何ですか。(回答は主なものを3つ以内)

- 1 最近住み始めたから
- 2 親戚や友人が近くにいないから
- 3 近隣の人間関係が良好でないから
- 4 自然環境が良くないから
- 5 街並みが気に入っていないから
- 6 交通の利便性が良くないから
- 7 治安があまり良くないなど、安心して暮らせないから
- 8 地域の歴史や名所に誇りを持ってないから
- 9 地域の活動があまり盛んでなく、活気がないから
- 10 楽しみにしている地域の祭りや行事がないから
- 11 気に入っている公園、広場、運動施設、緑地等がないから
- 12 気に入っている図書館やホール等の文化施設がないから
- 13 気に入っているお店がないから
- 14 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
1	4	21.1%
2	6	31.6%
3	4	21.1%
4	1	5.3%
5	2	10.5%
6	6	31.6%
7	3	15.8%
8	3	15.8%
9	5	26.3%
10	2	10.5%
11	3	15.8%
12	2	10.5%
13	3	15.8%
14	2	10.5%



n=19

愛着や親しみを感じていない理由については、「親戚や友人が近くにいない」と「交通の利便性が良くないから」が各31.6%と高く、次いで「地域の活動があまり盛んでなく、活気がないから」が26.3%という結果となりました。

**【地域活動・市民活動について】**

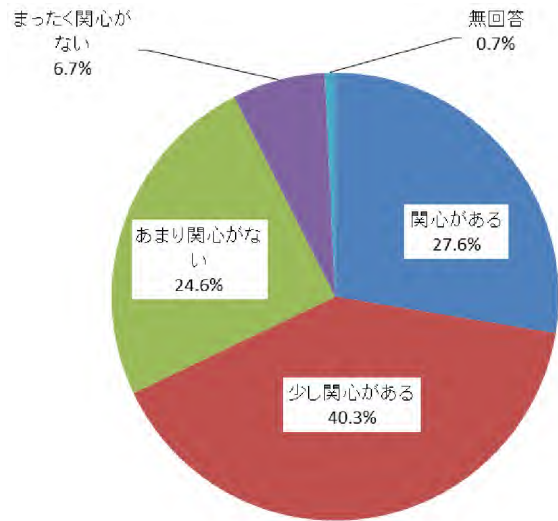
「地域活動」「市民活動」について、下記の説明をお読みの上、質問にお答えください。

- ・地域活動：地縁を基礎として一定の区域を活動の場とする団体等が、公共の課題の解決を目的として取り組む活動。(例)自治会、子ども会、老人クラブ、PTA、消防団などの活動
- ・市民活動：市民が、営利を主たる目的とせず、自発的、自主的に公共の課題の解決を目的として取り組む活動。ただし、宗教、政治及び選挙に関する活動を除く。  
(例)特定非営利活動団体(NPO)、ボランティア団体などの活動  
(市民協働推進条例(定義)第2条第3項及び第4項より)

**問9 あなたは、自治会や子ども会、PTA、消防団、自主防災組織などの地域活動や、環境、教育、福祉などの市民活動(NPO活動)などに関心がありますか。(回答は1つ)**

- 1 関心がある
- 2 少し関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない

選択肢	回答数	回答分布
1	37	27.6%
2	54	40.3%
3	33	24.6%
4	9	6.7%
無回答	1	0.7%
合計	134	100.0%



n=134

回答された方の 67.9% が地域活動や市民活動に関心をもっています。

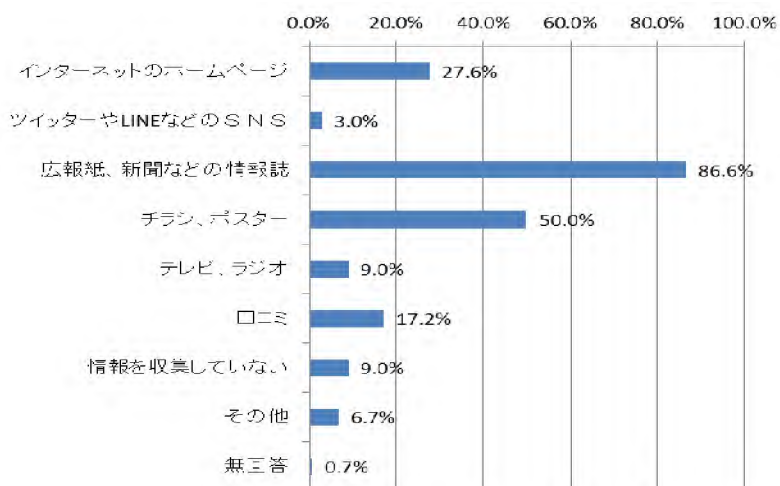


問 10 あなたは、地域活動や市民活動などに関する情報を、主にどんな方法で得ていますか。

(回答は3つまで)

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1 インターネットのホームページ   | 5 テレビ、ラジオ    |
| 2 ツイッターやLINEなどのSNS | 6 口コミ        |
| 3 広報紙、新聞などの情報誌     | 7 情報を収集していない |
| 4 チラシ、ポスター         | 8 その他( )     |

選択肢	回答数	回答分布
1	37	27.6%
2	4	3.0%
3	116	86.6%
4	67	50.0%
5	12	9.0%
6	23	17.2%
7	12	9.0%
8	9	6.7%
無回答	1	0.7%



n=134

情報をどのような方法で得ているかについての上位3項目は「広報紙、新聞などの情報誌」が86.6%で圧倒的に高く、次いで、「チラシ、ポスター」が50.0%、「インターネットのホームページ」が27.6%という結果となりました。

また、「8 その他」として、「自治会の回覧」、「自治会報等」との記載が複数見られました。

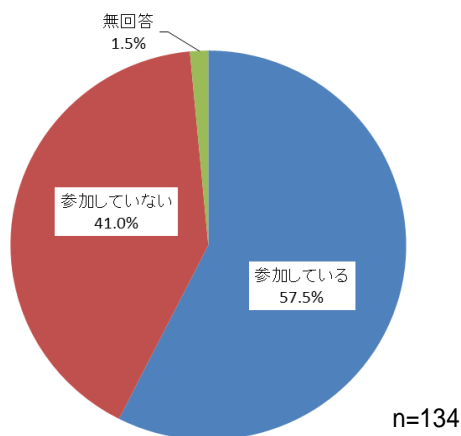
問 11 あなたは、地域活動に参加していますか。(回答は1つ)

(活動は地域の盆踊りや運動会、自治会や公民館活動、PTA活動、自治会の会議への参加など、どのようなことでも結構です。)

1 参加している (問 12 へ)

2 参加していない (問 13 へ)

選択肢	回答数	回答分布
1	77	57.5%
2	55	41.0%
無回答	2	1.5%
合計	134	100.0%

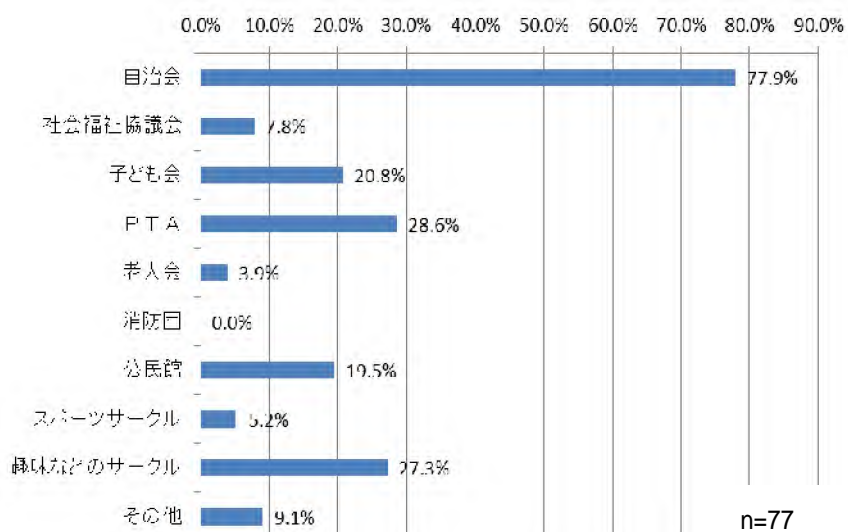


回答された方の 57.5% が地域活動に参加しています。

問 12 問 11 で「1 参加している」と回答された方にお伺いします。あなたが主に参加した活動はどのような活動ですか。(回答は3つまで)

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 自治会     | 6 消防団       |
| 2 社会福祉協議会 | 7 公民館       |
| 3 子ども会    | 8 スポーツサークル  |
| 4 P T A   | 9 趣味などのサークル |
| 5 老人会     | 10 その他 ( )  |

選択肢	回答数	回答分布
1	60	77.9%
2	6	7.8%
3	16	20.8%
4	22	28.6%
5	3	3.9%
6	0	0.0%
7	15	19.5%
8	4	5.2%
9	21	27.3%
10	7	9.1%



問 11 で「1 参加している」と回答された 77 人のうち、参加した活動の上位 3 項目は「自治会」が 77.9% で圧倒的に多く、「P T A」が 28.6%、「趣味などのサークル」が 27.3% という結果となりました。

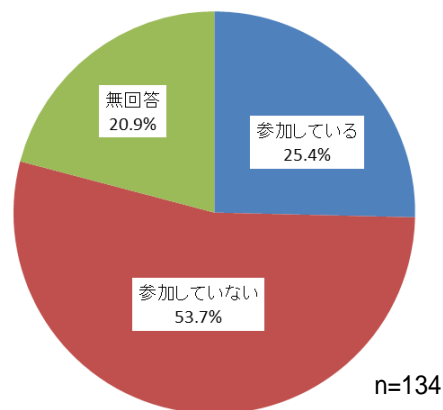
問 13 あなたは、市民活動に参加していますか。(回答は1つ)

(活動はNPO団体での活動やボランティア活動など、どのようなことでも結構です。)

1 参加している ( 問 14 へ )

2 参加していない ( 問 15 へ )

選択肢	回答数	回答分布
1	34	25.4%
2	72	53.7%
無回答	28	20.9%
合計	134	100.0%

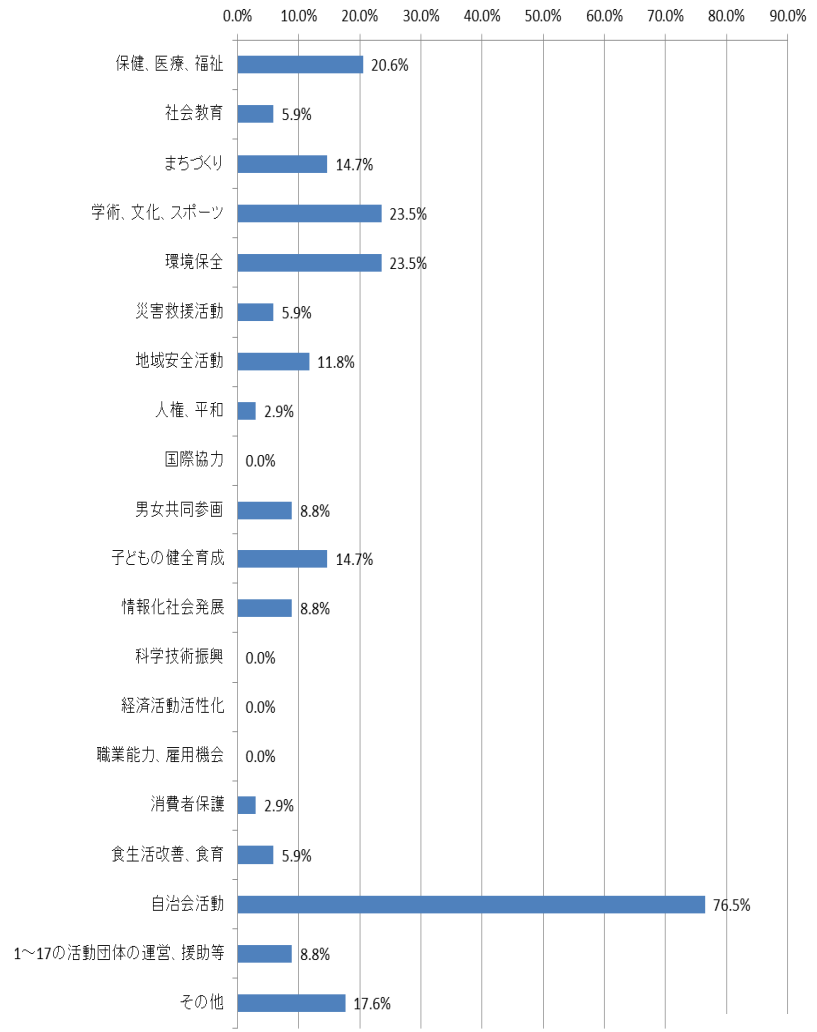


市民活動の参加については、「参加していない」が53.7%で、「参加している」は25.4%という結果となりました。

問 14 問 13 で「1 参加している」と回答された方にお伺いします。あなたが主に参加した活動は、どのような活動ですか。(回答は3つまで)

- 1 保健、医療または福祉の増進を図る活動
- 2 社会教育の推進を図る活動
- 3 まちづくりの推進を図る活動
- 4 学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動
- 5 環境の保全を図る活動
- 6 災害救援活動
- 7 地域安全活動
- 8 人権の擁護または平和の推進を図る活動
- 9 国際協力の活動
- 10 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- 11 子どもの健全育成を図る活動
- 12 情報化社会の発展を図る活動
- 13 科学技術の振興を図る活動
- 14 経済活動の活性化を図る活動
- 15 職業能力の開発または雇用機会の拡充を支援する活動
- 16 消費者の保護を図る活動
- 17 食生活改善、食育の推進を図る活動
- 18 自治会活動(地域の盆踊り・運動会などを含む)
- 19 上記の1～17の活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助の活動
- 20 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
1	7	20.6%
2	2	5.9%
3	5	14.7%
4	8	23.5%
5	8	23.5%
6	2	5.9%
7	4	11.8%
8	1	2.9%
9	0	0.0%
10	3	8.8%
11	5	14.7%
12	3	8.8%
13	0	0.0%
14	0	0.0%
15	0	0.0%
16	1	2.9%
17	2	5.9%
18	26	76.5%
19	3	8.8%
20	6	17.6%

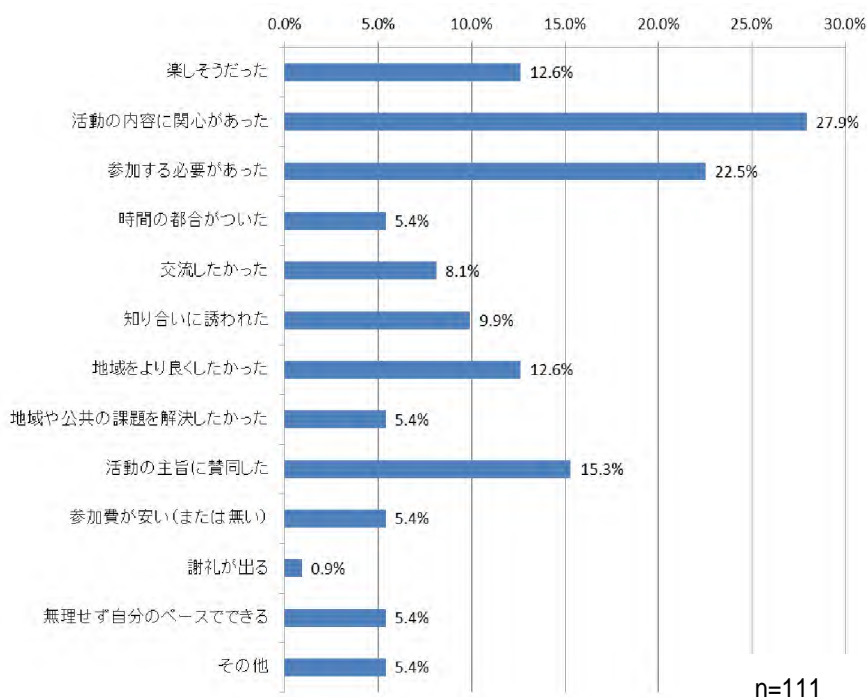


参加している市民活動の上位3項目は「自治会活動」が76.5%で最も高く、次いで、「学術、文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動」と「環境の保全を図る活動」が各23.5%という結果となりました。

問 15 問 11 または問 13 のいずれか、もしくは両方で「1 参加している」と回答された方にお伺いします。(どちらも「2 参加していない」と回答された方は問 16 へ)  
 あなたが地域活動や市民活動に参加したのは、どのような理由からですか。(回答は3つまで)

- 1 楽しそうだったから
- 2 活動の内容に関心があったから
- 3 参加する必要があるから
- 4 時間の都合がよかったから
- 5 交流したかったから
- 6 知り合いに誘われたから
- 7 地域をより良くしたかったから
- 8 地域や公共の課題を解決したかったから
- 9 活動の主旨に賛同したから
- 10 参加費が安い(または無い)から
- 11 謝礼が出るから
- 12 無理せず自分のペースでできるから
- 13 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
1	14	12.6%
2	31	27.9%
3	25	22.5%
4	6	5.4%
5	9	8.1%
6	11	9.9%
7	14	12.6%
8	6	5.4%
9	17	15.3%
10	6	5.4%
11	1	0.9%
12	6	5.4%
13	6	5.4%

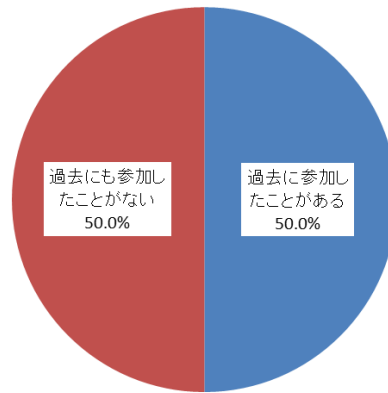


参加理由の上位3項目は、「活動の内容に関心があったから」が27.9%で最も高く、次いで、「参加する必要があるから」が22.5%、「活動の主旨に賛同したから」が15.3%という結果となりました。

問 16 問 11 および問 13 のどちらとも「2 参加していない」と回答された方にお伺いします。  
あなたは、過去に地域活動や市民活動に参加したことがありますか。(回答は1つ)

- 1 過去に参加したことがある(問 17 へ)
- 2 過去にも参加したことがない(問 18 へ)

選択肢	回答数	回答分布
1	26	50.0%
2	26	50.0%
合計	52	100.0%



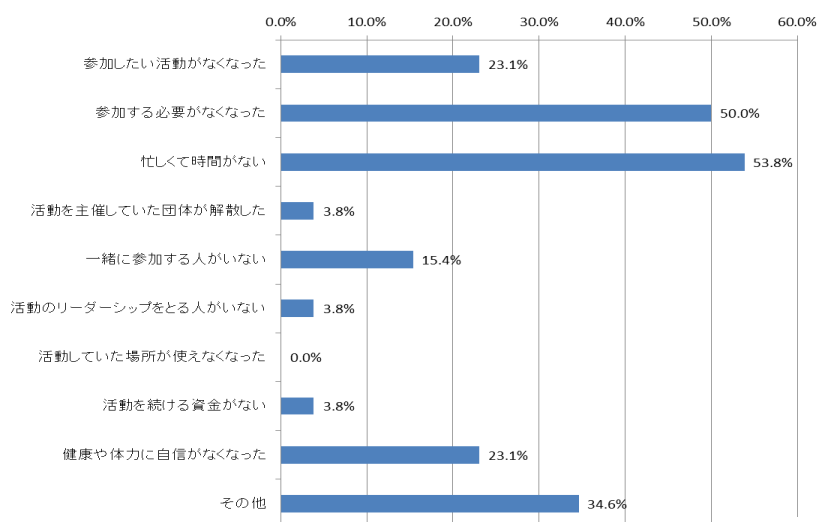
n=52

現在、地域活動や市民活動に参加していないと回答した人のうち、過去における参加の有無については、「過去に参加したことがある」と「過去にも参加したことがない」の比率は半々という結果となりました。

問 17 問 16 で「1 過去に参加したことがある」と回答された方にお伺いします。あなたが地域活動や市民活動に参加しなくなった理由は、どのような理由からですか。(回答は3つまで)

- 1 参加したい活動がなくなったから
- 2 参加する必要がなくなったから
- 3 忙しくて時間がないから
- 4 活動を主催していた団体が解散したから
- 5 一緒に参加する人がいないから
- 6 活動のリーダーシップをとる人がいないから
- 7 活動していた場所が使いなくなったから
- 8 活動を続ける資金がないから
- 9 健康や体力に自信がなくなったから
- 10 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
1	6	23.1%
2	13	50.0%
3	14	53.8%
4	1	3.8%
5	4	15.4%
6	1	3.8%
7	0	0.0%
8	1	3.8%
9	6	23.1%
10	9	34.6%



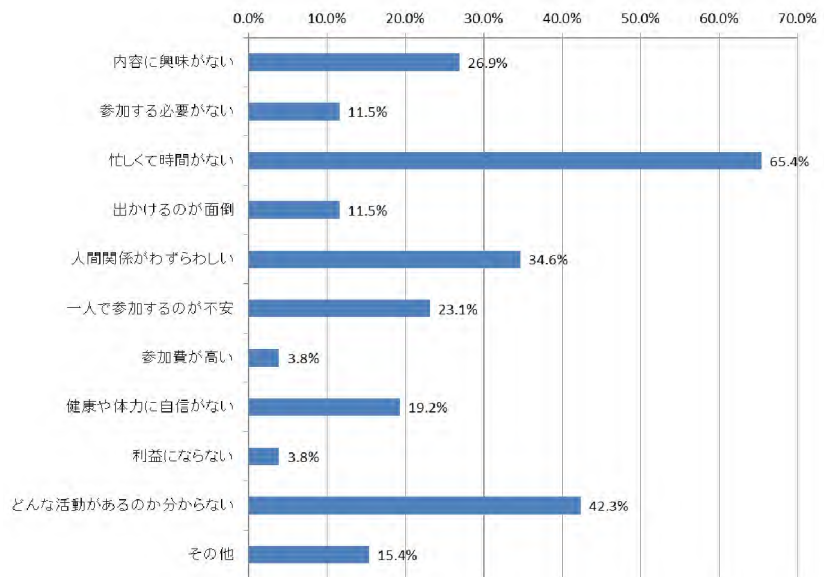
n=26

過去に地域活動や市民活動に参加したことがあると回答した26人のうち、参加しなくなった理由の上位3項目は、「忙しくて時間がないから」が53.8%で最も高く、次いで、「参加する必要がなくなったから」が50.0%、「参加したい活動がなくなったから」と「健康や体力に自信がなくなったから」が各23.1%という結果となりました。

問 18 問 16 で「2 過去にも参加したことがない」と回答された方にお伺いします。あなたが地域活動や市民活動に参加しないのは、どのような理由からですか。(回答は3つまで)

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1 内容に興味が無いから     | 7 参加費が高いから           |
| 2 参加する必要があるから    | 8 健康や体力に自信がないから      |
| 3 忙しくて時間がないから    | 9 利益にならないから          |
| 4 出かけるのが面倒だから    | 10 どんな活動があるのか分からないから |
| 5 人間関係がわずらわしいから  | 11 その他 ( )           |
| 6 一人で参加するのが不安だから |                      |

選択肢	回答数	回答分布
1	7	26.9%
2	3	11.5%
3	17	65.4%
4	3	11.5%
5	9	34.6%
6	6	23.1%
7	1	3.8%
8	5	19.2%
9	1	3.8%
10	11	42.3%
11	4	15.4%



n=26

問 18 「11 その他」記入欄意見

- 転勤の予定があるから
- 参加の仕方が不明

過去にも地域活動や市民活動に参加したことがないと回答された26人のうち、参加しない理由の上位3項目は、「忙しくて時間がないから」が65.4%で最も高く、次いで、「どんな活動があるのか分からないから」が42.3%、「人間関係がわずらわしいから」が34.6%という結果となりました。



## 【市民協働について】

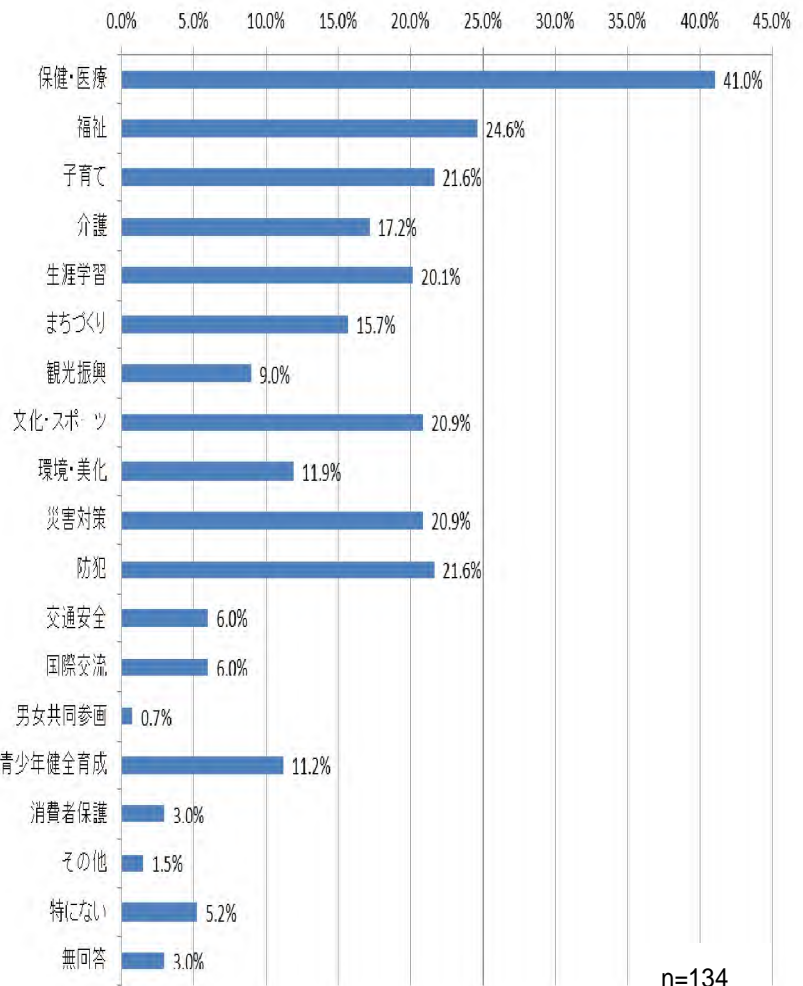
協働とは...多様な主体が目的を共有してそれぞれの役割と責任の下で、互いの立場を尊重し、協力して公共の利益を実現するために活動することをいいます。

### 問 19 市民協働のまちづくりについてお伺いします。

最近の社会情勢を踏まえ、あなたが地域や公共の課題の中で、関心のあるものはどんなことですか。(回答は3つまで)

- |         |           |             |
|---------|-----------|-------------|
| 1 保健・医療 | 8 文化・スポーツ | 15 青少年の健全育成 |
| 2 福祉    | 9 環境・美化   | 16 消費者保護    |
| 3 子育て   | 10 災害対策   | 17 その他      |
| 4 介護    | 11 防犯     | ( )         |
| 5 生涯学習  | 12 交通安全   | 18 特にない     |
| 6 まちづくり | 13 国際交流   |             |
| 7 観光振興  | 14 男女共同参画 |             |

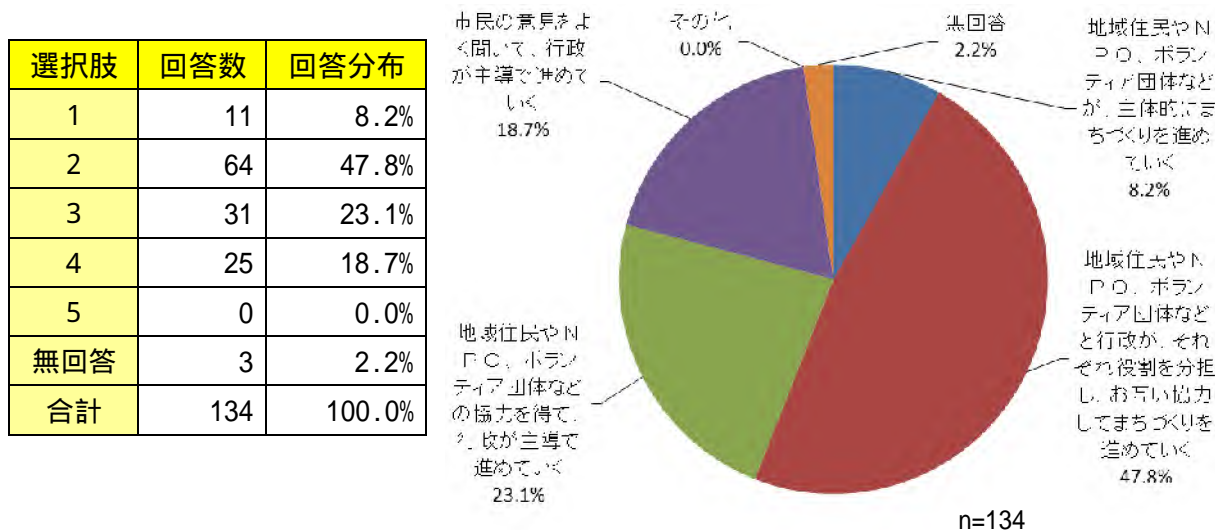
選択肢	回答数	回答分布
1	55	41.0%
2	33	24.6%
3	29	21.6%
4	23	17.2%
5	27	20.1%
6	21	15.7%
7	12	9.0%
8	28	20.9%
9	16	11.9%
10	28	20.9%
11	29	21.6%
12	8	6.0%
13	8	6.0%
14	1	0.7%
15	15	11.2%
16	4	3.0%
17	2	1.5%
18	7	5.2%
無回答	4	3.0%



地域や公共の課題の中で関心のあるものの上位3項目は、「保健・医療」が41.0%で最も高く、次いで、「福祉」が24.6%、「子育て」と「防犯」が各21.6%という結果となりました。

問 20 あなたは地域の特色を生かしたまちづくりを進めるために、市民や行政がどのように取り組むことが重要だとお考えですか。(回答は1つ)

- 1 地域住民やNPO、ボランティア団体などが、主体的にまちづくりを進めていく
- 2 地域住民やNPO、ボランティア団体などと行政が、それぞれ役割を分担し、お互い協力してまちづくりを進めていく
- 3 地域住民やNPO、ボランティア団体などの協力を得て、行政が主導で進めていく
- 4 市民の意見をよく聞いて、行政が主導で進めていく
- 5 その他( )

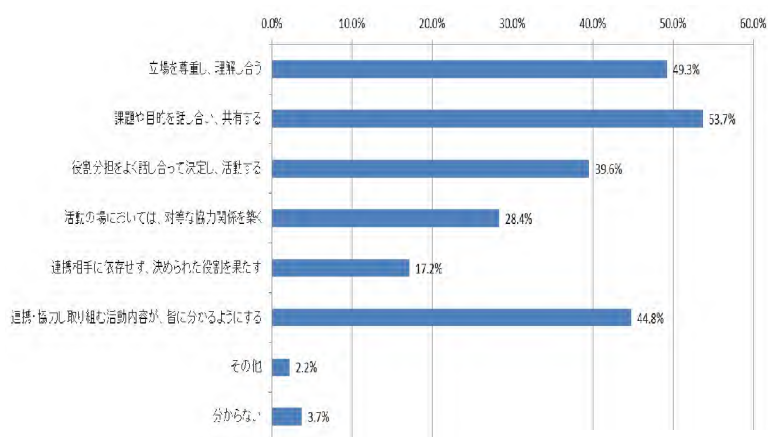


地域の特色を生かしたまちづくりを進めるため、市民や行政がどのように取り組むことが重要と考えるかについては、「地域住民やNPO、ボランティア団体などと行政が、それぞれ役割を分担し、お互い協力してまちづくりを進めていく」が最も高く、47.8%という結果となりました。

問 21 あなたは地域の特色を生かしたまちづくりを進めるため、市民と行政が連携や協力をするにあたり、どのようなことが重要だとお考えですか。（回答は3つまで）

- 1 お互いの立場を尊重し、理解し合うこと
- 2 地域の課題や取り組みの目的を話し合い、共有すること
- 3 お互いの役割分担をよく話し合った上で決定し、活動すること
- 4 活動の場においては、対等な協力関係を築くこと
- 5 連携する相手に依存することなく、決められた役割を果たすこと
- 6 連携や協力をして取り組んでいる活動の内容が、皆に分かるようにすること
- 7 その他（ )
- 8 分からない

選択肢	回答数	回答分布
1	66	49.3%
2	72	53.7%
3	53	39.6%
4	38	28.4%
5	23	17.2%
6	60	44.8%
7	3	2.2%
8	5	3.7%



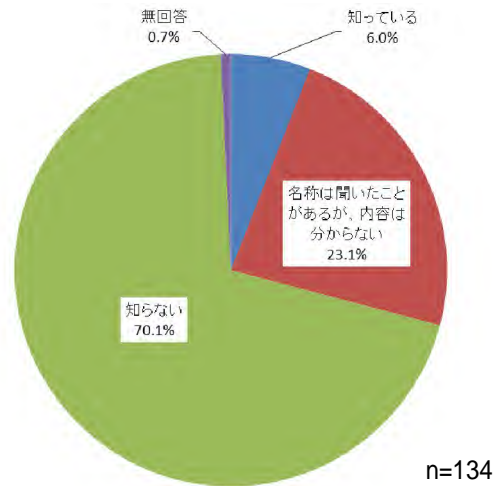
（複数回答 n=134）

地域の特色を生かしたまちづくりを進めるため、市民と行政が連携や協力をするにあたり、どのようなことが重要と考えるかについては、「地域の課題や取り組みの目的を話し合い、共有すること」が 53.7%と最も高く、次いで「お互いの立場を尊重し、理解し合うこと」が 49.3%、「連携や協力をして取り組んでいる活動の内容が、皆に分かるようにすること」が 44.8%という結果となりました。

問 22 本市では、平成 2 4 年 3 月に「相模原市市民協働推進条例」を制定、平成 2 6 年 3 月に「相模原市市民協働推進基本計画」を策定し、協働の推進に向けて各種取り組みを進めているところですが、あなたは、この条例と計画を知っていますか。(回答は 1 つ)

- 1 知っている
- 2 名称は聞いたことがあるが、内容は分からない
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
1	8	6.0%
2	31	23.1%
3	94	70.1%
無回答	1	0.7%
合計	134	100.0%



回答された方の 70.1% が条例と計画を知りませんでした。

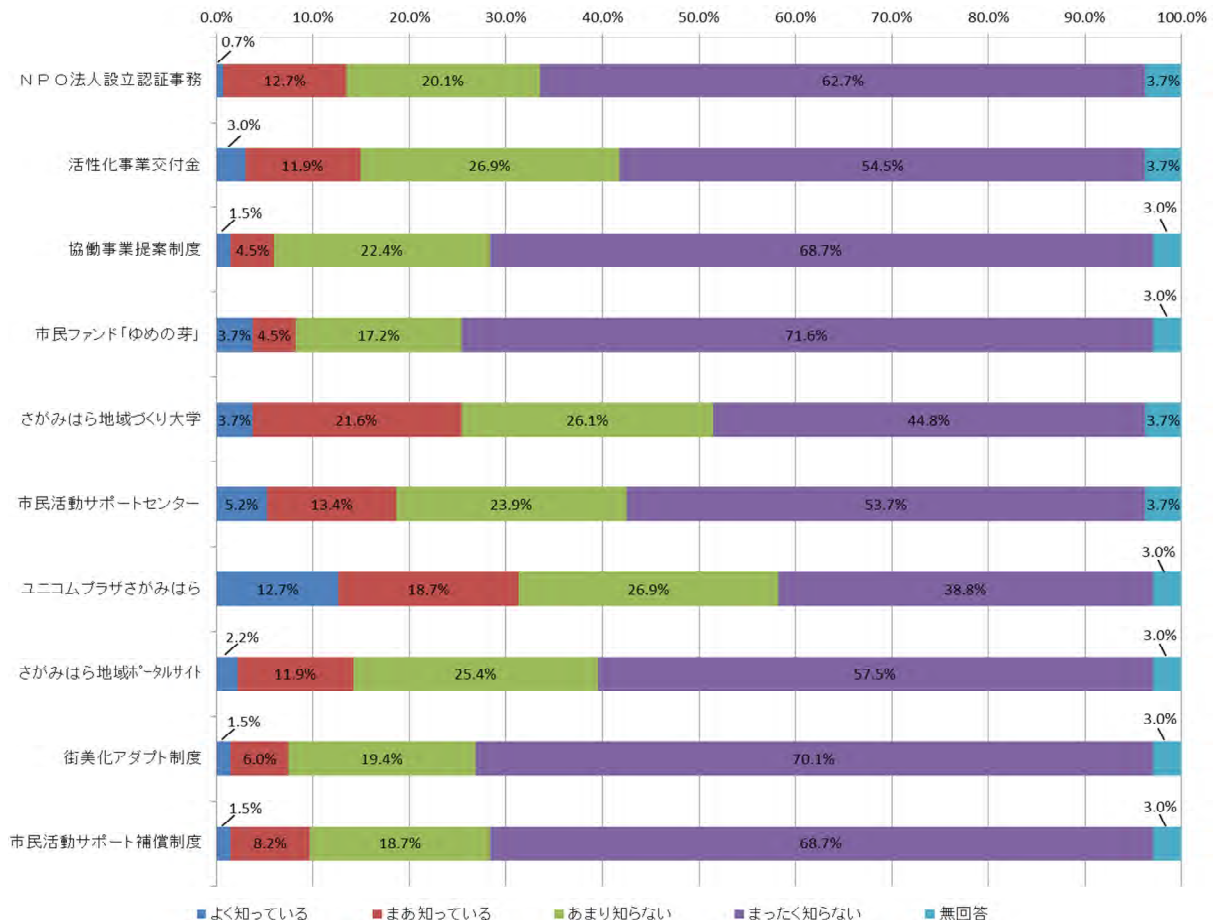
問 23 あなたは、協働推進のために市が取り組む施策について、どの程度知っていますか。  
 該当の番号に を付けてください。(回答は(1)～(10)それぞれ1つずつ)

【1 = よく知っている 2 = まあ知っている 3 = あまり知らない 4 = まったく知らない】

回答例	1	2	3	4
(1)特定非営利活動法人(NPO法人)設立認証などの事務	1	2	3	4
(2)相模原市地域活性化事業交付金 <sup>1</sup>	1	2	3	4
(3)相模原市協働事業提案制度 <sup>2</sup>	1	2	3	4
(4)市民・行政協働運営型市民ファンド「ゆめの芽」 <sup>3</sup>	1	2	3	4
(5)さがみはら地域づくり大学 <sup>4</sup>	1	2	3	4
(6)さがみはら市民活動サポートセンター <sup>5</sup>	1	2	3	4
(7)ユニコムプラザさがみはら(市立市民・大学交流センター) <sup>6</sup>	1	2	3	4
(8)さがみはら地域ポータルサイト <sup>7</sup>	1	2	3	4
(9)街美化アダプト制度 <sup>8</sup>	1	2	3	4
(10)市民活動サポート補償制度 <sup>9</sup>	1	2	3	4

- 1 地域活性化事業交付金とは...本市に22あるまちづくり区域において地域の活性化と課題解決を図り、市民が自主的な課題解決に取り組む事業に対して交付金を交付する制度です。
- 2 協働事業提案制度とは...市民の皆さまが抱える公共的な課題の解決を目指し、市民活動団体と市が協働で事業を実施するための仕組みです。
- 3 市民ファンドとは...市内で活動する市民活動団体が市民を対象とした公益的な事業を実施する際、その活動費を助成するファンドです。
- 4 さがみはら地域づくり大学とは...協働の観点での地域活動や市民活動を促進する上で必要となる知識やスキルを学ぶ場として開講した、活動の担い手を育成する事業です。
- 5 市民活動サポートセンターとは...社会福祉や環境保全など、さまざまな分野で行われている市民の自主的・非営利の社会に貢献する活動を支援する拠点施設です。
- 6 ユニコムプラザさがみはらとは...地域活動や市民活動を行う市民と高度な専門性や豊富な人材を有する大学が連携して、さまざまな分野に関する地域の課題解決や活性化を図る拠点施設です。
- 7 さがみはら地域ポータルサイトとは...市民団体の紹介や身近な情報掲示板など、暮らしに役立つ市内の情報ネットで、市と民間が協働で運営しているサイトです。
- 8 街美化アダプト制度とは...公園、緑地、道路などの公共スペースの美化活動を市民が自発的に行い、市が活動を支援する、市民と市のパートナーシップによるまちづくりを実施していく制度です。
- 9 市民活動サポート補償制度とは...ボランティア活動を側面から支援するため、活動中の不測の事故に対し補償を行う制度です。

施策	1 = よく知っている		2 = まあ知っている		3 = あまり知らない		4 = まったく知らない		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
(1)	1	0.7%	17	12.7%	27	20.1%	84	62.7%	5	3.7%
(2)	4	3.0%	16	11.9%	36	26.9%	73	54.5%	5	3.7%
(3)	2	1.5%	6	4.5%	30	22.4%	92	68.7%	4	3.0%
(4)	5	3.7%	6	4.5%	23	17.2%	96	71.6%	4	3.0%
(5)	5	3.7%	29	21.6%	35	26.1%	60	44.8%	5	3.7%
(6)	7	5.2%	18	13.4%	32	23.9%	72	53.7%	5	3.7%
(7)	17	12.7%	25	18.7%	36	26.9%	52	38.8%	4	3.0%
(8)	3	2.2%	16	11.9%	34	25.4%	77	57.5%	4	3.0%
(9)	2	1.5%	8	6.0%	26	19.4%	94	70.1%	4	3.0%
(10)	2	1.5%	11	8.2%	25	18.7%	92	68.7%	4	3.0%



n=134

「ユニコムプラザさがみはら」や「さがみはら地域づくり大学」、「市民活動サポートセンター」以外は、「まったく知らない」が6～7割と、知らない方が多い状況がうかがえる結果となりました。

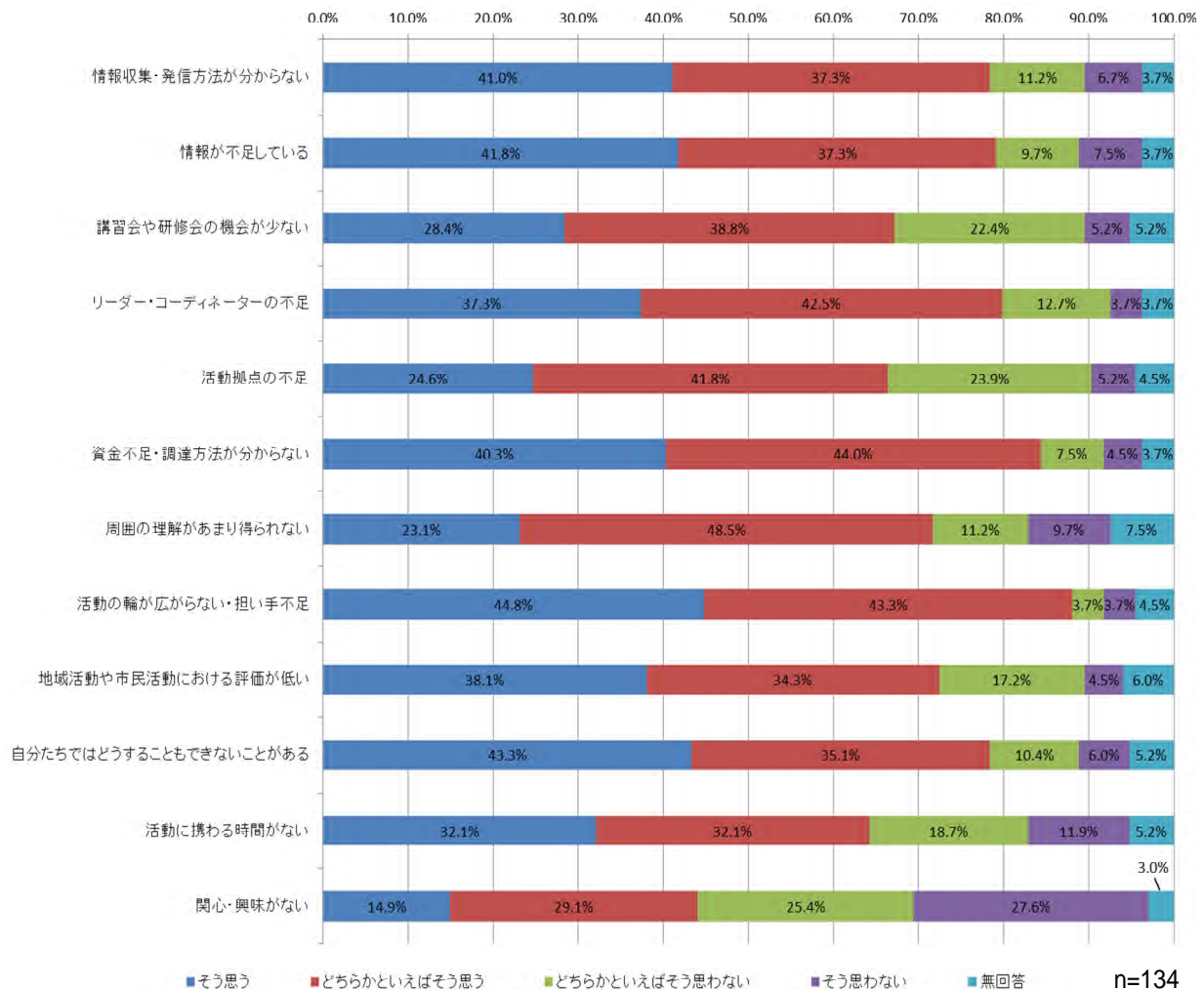
問 24 あなたは、地域活動や市民活動を進める上で、どのようなことが課題だと思いますか。

該当の番号に を付けてください。(回答は(1)～(12)それぞれ1つずつ)

【1 = そう思う 2 = どちらかといえばそう思う 3 = どちらかといえばそう思わない  
4 = そう思わない】

回答例	1	2	3	4
(1)情報の収集・発信の方法が分からない	1	2	3	4
(2)情報が不足している	1	2	3	4
(3)講習会や研修会などの機会が少ない	1	2	3	4
(4)リーダーやコーディネーターの不足	1	2	3	4
(5)活動拠点の不足	1	2	3	4
(6)資金不足・資金調達の方法が分からない	1	2	3	4
(7)周囲の理解があまり得られない	1	2	3	4
(8)活動の輪が広がらない・担い手が不足している	1	2	3	4
(9)地域活動や市民活動における評価が低い	1	2	3	4
(10)自分たちではどうすることもできないことがある	1	2	3	4
(11)活動に携わる時間がない	1	2	3	4
(12)興味・関心がない	1	2	3	4

施策	1 = そう思う		2 = どちらかとい えばそう思う		3 = どちらかとい えばそう思わない		4 = そう思わない		無回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
(1)	55	41.0%	50	37.3%	15	11.2%	9	6.7%	5	3.7%
(2)	56	41.8%	50	37.3%	13	9.7%	10	7.5%	5	3.7%
(3)	38	28.4%	52	38.8%	30	22.4%	7	5.2%	7	5.2%
(4)	50	37.3%	57	42.5%	17	12.7%	5	3.7%	5	3.7%
(5)	33	24.6%	56	41.8%	32	23.9%	7	5.2%	6	4.5%
(6)	54	40.3%	59	44.0%	10	7.5%	6	4.5%	5	3.7%
(7)	31	23.1%	65	48.5%	15	11.2%	13	9.7%	10	7.5%
(8)	60	44.8%	58	43.3%	5	3.7%	5	3.7%	6	4.5%
(9)	51	38.1%	46	34.3%	23	17.2%	6	4.5%	8	6.0%
(10)	58	43.3%	47	35.1%	14	10.4%	8	6.0%	7	5.2%
(11)	43	32.1%	43	32.1%	25	18.7%	16	11.9%	7	5.2%
(12)	20	14.9%	39	29.1%	34	25.4%	37	27.6%	4	3.0%



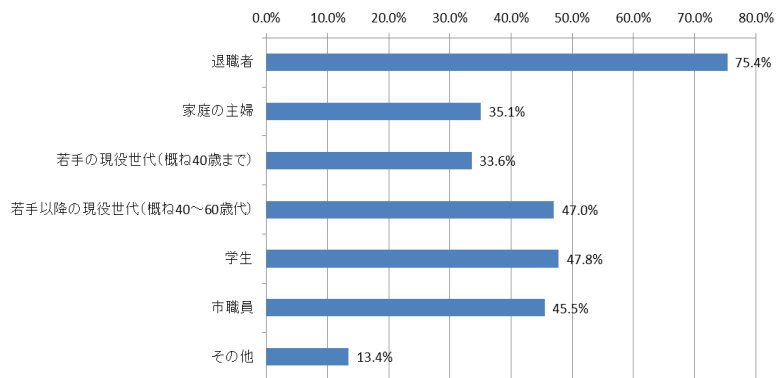
地域活動や市民活動を進める上での課題について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせて高いものは、「活動の輪が広がらない・担い手が不足している」が88.1%、次いで「資金不足・資金調達の方法が分からない」が84.3%、「リーダーやコーディネーターの不足」が79.8%という結果となりました。



問 25 あなたは、地域活動や市民活動の担い手について、どのような層から確保することが望ましいと思いますか。(複数回答可)

- |                        |          |
|------------------------|----------|
| 1 退職者                  | 5 学生     |
| 2 家庭の主婦                | 6 市職員    |
| 3 若手の現役世代(概ね40歳まで)     | 7 その他( ) |
| 4 若手以降の現役世代(概ね40~60歳代) |          |

選択肢	回答数	回答分布
1	101	75.4%
2	47	35.1%
3	45	33.6%
4	63	47.0%
5	64	47.8%
6	61	45.5%
7	18	13.4%



(複数回答 n=134)

問 25 「7 その他」記入欄意見

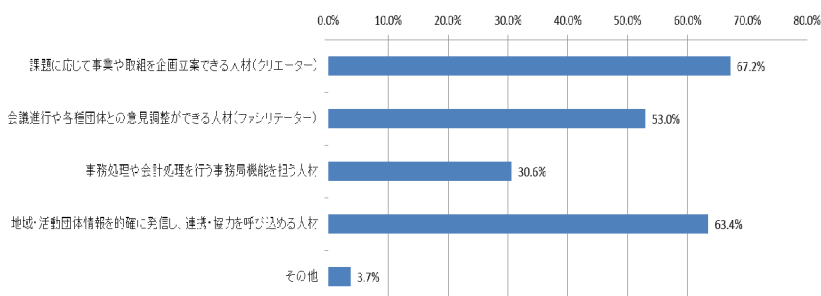
広い年齢層。世代毎、それぞれの立場の人がバランス良く。全ての層から。  
 幅広い世代が参加するのが理想だが時間的に難しい。  
 年齢層よりも「やる気」のある人。全層、できる人。興味のある人ならどなたでも。  
 元気な後期高齢者。心身ともに健康な高齢者。  
 企業やまちおこしの専門家に実例を教えてください。  
 どうしようもない場合、お金(税金)で頼む。  
 市職員は指導者の役割をお願いします。

地域活動や市民活動の担い手をどのような層から確保することが望ましいかについての上位3項目は、「退職者」が75.4%と最も高く、次いで、「学生」が47.8%、「若手以降の現役世代(概ね40~60歳代)」が47.0%という結果となりました。

問 26 あなたは、地域活動団体や市民活動団体のリーダー及びリーダーを補助する人材には、どのような能力をもった人材が必要と考えますか。(複数回答可)

- 1 既存の事業や取り組みを踏襲するだけでなく、地域課題に応じて新たな事業や取り組みを企画立案できる人材(クリエイター)
- 2 会議の進行役や、各種団体との意見調整役をこなせる人材(ファシリテーター)
- 3 事務処理や会計処理を行う事務局機能を担う人材
- 4 地域や活動団体に関する情報を内外に的確に発信し、連携や協力を呼び込むことができる人材
- 5 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
1	90	67.2%
2	71	53.0%
3	41	30.6%
4	85	63.4%
5	5	3.7%



(複数回答 n=134)

問 26 「5 その他」記入欄意見

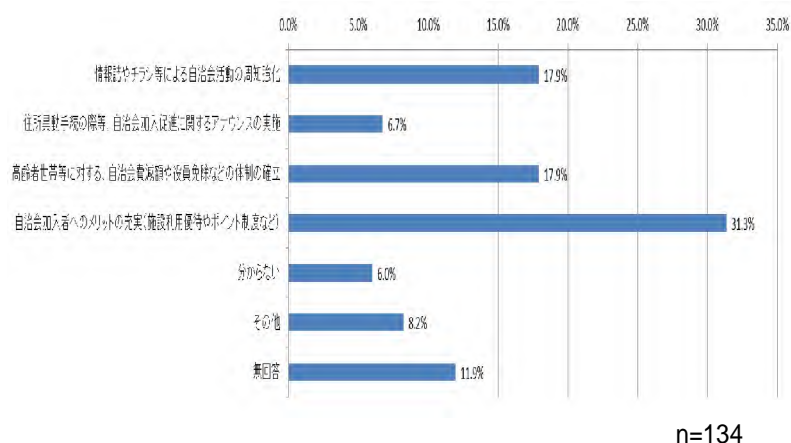
より多くの人々に対し、広報周知を地域社会の中で、浸透できる資質を持った人  
 集金、人材集めができる人  
 クリエーターとして行政機関がリードして欲しい。財源は結局役所が握っている  
 熱意・意欲のある人  
 キチンと参加できる人  
 経験が豊富な方

地域活動団体や市民活動団体のリーダー及びリーダーを補助する人材として、どのような能力をもった人材が必要かとの問いについては、「既存の事業や取り組みを踏襲するだけでなく、地域課題に応じて新たな事業や取り組みを企画立案できる人材(クリエイター)」が67.2%と最も高く、次いで「地域や活動団体に関する情報を内外に的確に発信し、連携や協力を呼び込むことができる人材」が63.4%、「会議の進行役や、各種団体との意見調整役をこなせる人材(ファシリテーター)」が53.0%という結果となりました。

問 27 本市の自治会加入率は、平成 29 年 4 月 1 日現在で「55.3%」(相模原市自治会連合会調べ)となっていますが、今後加入世帯数を増やしていくためには、どのような対策が必要と思いますか。(回答は 1 つ)

- 1 防災・防犯・環境美化・福祉等、自治会活動について、情報誌やチラシ等での周知強化
- 2 自治会加入促進について、住所異動手続きや不動産契約の際のアナウンスの実施
- 3 高齢者世帯等に対する、自治会費減額や役員免除などの体制の確立
- 4 自治会加入者へのメリットの充実(施設利用優待やポイント制度など)
- 5 分からない
- 6 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
1	24	17.9%
2	9	6.7%
3	24	17.9%
4	42	31.3%
5	8	6.0%
6	11	8.2%
無回答	16	11.9%
合計	134	100.0%



問 27 「6 その他」記入欄意見

1～4まで、不必要なものは、何もない。

各活動の中で、必要性を感じてもらうこと。加入していて良かったと感じてもらうようにする。加入率の低さは、役員の負担と直結しています。いかなる事情があっても「順番だから」と押し通されたら何も言えない。男性は、仕事で昼間不在ですが、女性は仕事をしている人もいれば、子育てが大変な人もいます。子供会と同様、自治会も入会は簡単ですが、脱退は困難です。持病があっても無関係。

社会経験が豊かで体力もある30～40代が地域活動に参加できるよう、インターネットやSNSやTV会議を活用する。直接その場にいなくても参加できるように。

自治会費の減額や加入者世帯のニーズに合ったメリットを作る。自治会費の用途目的や使用した金額を詳細に加入者に報告する。

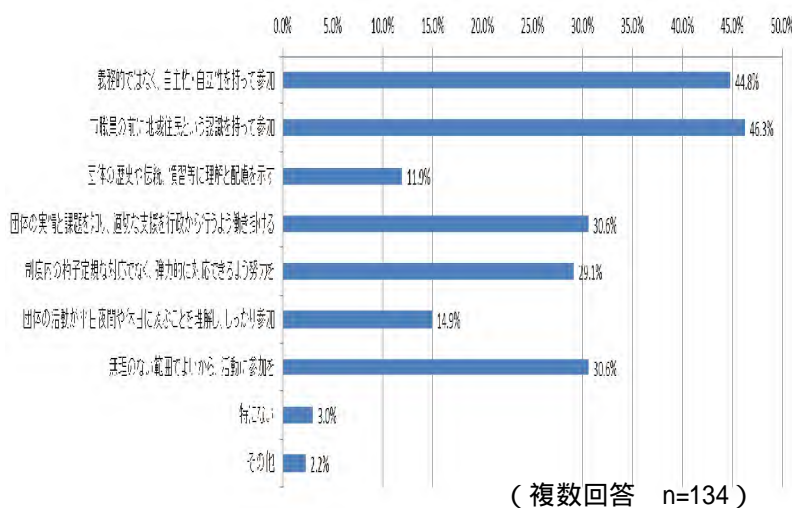
自治会の存在意義が問われています。賃貸に住んでいる人は仮住まいの意識から加入しません。ゴミ捨ての問題が重要です。

自治会の加入世帯数を増やしていくために必要と思われる対策については、「自治会加入者へのメリットの充実(施設利用優待やポイント制度など)」が31.3%と最も高く、次いで「防災・防犯・環境美化・福祉等、自治会活動について、情報誌やチラシ等での周知強化」と「高齢者世帯等に対する、自治会費減額や役員免除などの体制の確立」が各17.9%という結果となりました。

問 28 あなたは、市職員が地域活動や市民活動へ参加することについて、どのようなことを望んでいますか。（回答は3つまで）

- 1 義務的な態度で参加するのではなく、自主性・自立性を持って参加してほしい
- 2 市職員である前に地域住民であるという認識を持って参加してほしい
- 3 当該活動団体の歴史や伝統、慣習等について理解と配慮を示してほしい
- 4 当該活動団体の実情と課題を知り、行政の方から適切な支援を行うよう、働き掛けてほしい
- 5 現行制度の枠内の杓子定規な対応ではなく、弾力的な対応ができるよう努力してほしい
- 6 団体の活動が、平日の夜間や休日に及ぶことがあるのを理解し、平日夜間や休日の活動でもしっかり参加してほしい
- 7 無理のない範囲でよいから、活動に参加してほしい
- 8 特にない
- 9 その他（ ）

選択肢	回答数	回答分布
1	60	44.8%
2	62	46.3%
3	16	11.9%
4	41	30.6%
5	39	29.1%
6	20	14.9%
7	41	30.6%
8	4	3.0%
9	3	2.2%



問 28 「9 その他」記入欄意見

自分達が、楽しいんだという認識を持ち、自らが、リードするよう理解を高めて参加して欲しい。うわべだけでなく、心から楽しさをやる気を見せて欲しい。

意思疎通が上手くできない場合、間に入って、両者の関係を改善して欲しいです。

元公務員の立場からは強制できない。あくまでも仕事の範囲内で活動すべきだ。

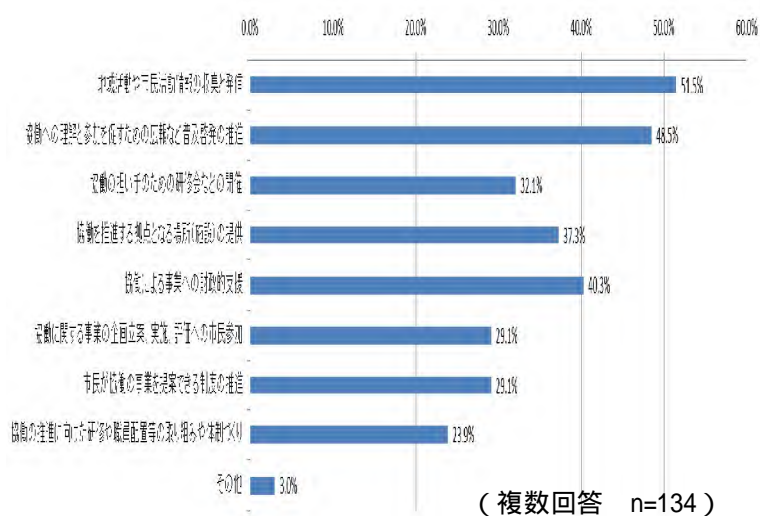
市職員に対しての要望・要求ばかり（他力本願）で、人に頼るではなく自分に何ができるのかの検討がない。

市職員が地域活動や市民活動へ参加することについて、どのようなことを望むかについては、「市職員である前に地域住民であるという認識を持って参加してほしい」が46.3%と最も高く、次いで「義務的な態度で参加するのではなく、自主性・自立性を持って参加してほしい」が44.8%。「当該活動団体の実情と課題を知り、行政の方から適切な支援を行うよう、働き掛けてほしい」と「無理のない範囲でよいから、活動に参加してほしい」が各30.6%という結果となりました。

問 29 あなたは、協働を推進するために、市はどのような施策を優先して行うべきと考えますか。  
 (複数回答可)

- 1 地域活動や市民活動情報の収集と発信
- 2 協働への理解と参加を促すための広報などの普及啓発の推進
- 3 協働の担い手のための研修会などの開催
- 4 協働を推進する拠点となる場所(施設)の提供
- 5 協働による事業への財政的支援
- 6 協働についての事業の企画立案、事業実施、事業評価への市民参加
- 7 市民が協働の事業を提案できる制度の推進
- 8 協働の職員研修や協働を推進する職員を配置する取り組みや体制づくり
- 9 その他 ( )

選択肢	回答数	回答分布
1	69	51.5%
2	65	48.5%
3	43	32.1%
4	50	37.3%
5	54	40.3%
6	39	29.1%
7	39	29.1%
8	32	23.9%
9	4	3.0%



問 29 「9 その他」記入欄意見

やはり場所と財源確保が最優先事項だと思う。

大きなテーマや大学との共同研究や実践ができること。

協働を前提とするのではなく、市自体がもっとやるべきこと、経費低減にむけた取り組みが必要。

協働を推進するために、市はどのような施策を優先して行うべきかについては、「地域活動や市民活動情報の収集と発信」が51.5%と最も高く、次いで「協働への理解と参加を促すための広報などの普及啓発の推進」が48.5%、「協働による事業への財政的支援」が40.3%という結果となりました。

問 30 市民協働のまちづくりについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

《地域活動・市民活動について》

以前、出張所からまちづくりセンターに変わった時、「これからは、地域密着型の役所になるんだ。」と思ったものだが、今では、以前より更に壁ができてしまった感あり。

地域には、まちづくりセンター、公民館、自治会連合会、社会福祉協議会、民生委員協議会等あるが、それぞれ全て縦割りで、横の繋がりは良くない。それぞれに関わる住民は、地域で同じ空気を吸って生きているので、縄張り意識を捨てなければ、真の市民協働など遠い夢に終わってしまう。

公民館が一番地域の人の輪の中心になる所なので、公民館スタッフ中心になるが、公民館行事に積極的に学校（小中学校、幼稚園、保育園）の子ども、地域の大人（子どもの父母、子ども会や自治会、高校・大学生）と関わりあって行く場を設けて、みんなで地域を良くしていきたい。是非、私も参加して力になりたい。

県外から越してきたが、相模原は治安が悪く、あまり関わりたくないような常識が無い人々が多い。ルールが守れない、常識が無いので、そもそも会話にならず、協力などできる事も少ない。子どもを持っている親、幼稚園でもそのような方が多いので、学校や近所となると更に増えると思う。地域活動、市民活動等は、ある程度考え方が一致していないと協力は無理なので、相模原は難しいと思われる。市の職員の要請なら受け入れても、同じ市民同士では無理だと思います。

自分も参加してみたい気持ちはありますが、色々な思いがあって、気軽には参加できないであります。自治会や学校のPTAのお手伝いをしたいと思っても、もし会長や副会長等の役職に就いてしまうと責任が重くなります。体力にも自信が無く、一年間務める自信がありません。会長や副会長等は、市職員が担っていただき、自分はお手伝いなら、毎年でも積極的に参加したいです。毎日働いている方と違って、もう何十年も家を中心にいる専業主婦は、人前で発言する事が苦手な人が多いと思います。

地域活動は分かりますが、市民活動はどのような団体があり、どのような地域活動をしているのか、知る機会があまりなく、分からない。市民全体への理解は難しいと思うが、積極的にみんなに支援してもらえるようにアピールした方が良い。自治会・子ども会など、面倒で加入しない人が多い。災害などでは、地域で助け合っていかなければならないので、より多くの人たちに必要性をアピールした方が良い。

興味を持った人は、まず「相模原市ボランティア」でネット検索をしようと思う。ここで、市のボランティア情報がヒットする。このページは、とても丁寧に書かれていて良いと思うが、逆に文章量の多さに敬遠されてしまう可能性もあるので、(学生など特に)まずは、パンフレットのように簡略化された物がヒットするようにしてあると、入っていきやすいのではと思った。

自治会の活動が何をしているのか見えない(分からない)。年間予定表配布(下記内容を追記)具体的にどのような活動内容か説明を。参加又は、サポートできる人への呼び掛けも大切かと思えます。

自治会に加入していない方にどう伝えていくかは検討課題と思えます。

まちづくり会議などの内容をできるだけ回覧等で知らせる。情報開示が大切だと思います。

自治会活動や子ども会・PTAは、誰もが面倒に感じますが、参加してみるとそれなりに有意義なものです。私は、どれもやって良かったと思えますし、また機会があれば、参加もします。ですので、まずは多くの人に参加してもらおうきっかけを用意できたら良いと思えます。強制するorメリットをつける等...

子どもが地域の学校に在籍する間は地域活動に参加しやすいが、卒業してしまうとなかなか参加できない。もしも可能なら、まちづくりにボランティアポイントみたいな制度を作り、老後にポイントを利用できるようにしたらどうだろうか。介護や医療や交通、あるいはアメニティ(楽しみ)にポイントを使えると、市民協働に参加しやすいかもしれない。

こういう活動は自治会の役員や民生委員なども含め年配の方々がやっている印象があり、一部の方には喜ばれるかもしれませんが、時代錯誤の活動やニーズに合っていないものがあるような気がします。若い方々の自主性や発想を取り入れた取り組みや活動を行っていけば、違った形で広がっていくのではないのでしょうか。

活動の担い手を行いたい方は、私も含め多い気はします。その思いを形にできる場所(研修やコミュニティ)を作ってもらえると少なからず参加する人はいるかと思います。

NPO法人の活動も優遇されていると思いますので、できれば地域紙や広報紙などで具体的な活動内容や成果を掲載していただきたいと思います。実際、何を行っているかわからない事が多い気がします。

非常に難しい案件です。昔なら、自治会に入会しなければ、村八分、ゴミ出ししてはいけないとか言ってましたが、今では、地元以外の方も大勢住んでいるし、強制力が無くなった。不景気で節約志向になっているので、自治会費は払いたくない、と思います。

提案します。自治会費は市民の方から全員に一律、定額での徴収方式に変え、地域活動費としてプール。その中から、通常ボランティアとして活動される方へ配分したらどうでしょうか?今の自治会費は、はっきり言って、地区の高齢者等の懇親会費となっているように思います。自治会に加入しなくても日々の生活には何ら支障は出ないですし、加入している方はただ義務感でのみ会費を払っています。今一度、自治会活動を見直し、本当に必要な活動のみを重点的に実施する。その活動に参加される方に徴収した会費を配分しては?

自治会活動について言えば、その意義が薄れてきている事実があり、制度疲労と言えるかとも思います。それが自治会加入率に表れているのではないのでしょうか。レクリエーション等是一部の参加者に偏る等もあり、公共性や必然性も分かりづらい。行政側の方々もご理解の上、今回の質問があったと推察します。従って、加入者を増やすという考えよりも、意義の再確認が先決だと思います。私が参加していた時もそうでしたが、毎年ほぼ決まった年次計画をこなすだけという感じがありました。一方、行政の出先機関的な感じもしていました。今一度、自治会の存在意義や現在の社会環境を踏まえた再考が必要だと思います。

新しい人にも自治会等に参加してもらい、ワンパターンにならないようにする。自治会加入者の特典を増やし、加入を促進したほうがいい。

現在、ボランティア活動は、品川を拠点とするNPOに参加しています。NPOボランティア活動の講習会が土日開催の為、参加できました。活動は、平日でも会社の有給休暇を利用しながら参加しています。相模原市でもどんどん土日祝日開催の勉強会や講習会をしていただけると地元での活動に参加できる世代が増えると思っています。柔軟に活動年齢層の分散化を図り、手厚い協働をしていけば、取り組む体制の多様化もできるかと思います。

いつ、どこで、どのような活動が行われているのかがよくわかりません。そのような情報を市が活動団体と協力して広報または周知していただけたら大変ありがたいです。

行政が市民・住民の意見を吸い上げやすい場合は、公民館だと思う。公民館職員の意見を市役所が良く聞く努力をしてほしい。その意見交換を通じて、問題意識を持っている市民・住民との意見交換をするのも効果的だと思う。

### 《活動への参加について》

これから参加するように、市から発信される情報等を良く読みます。誘ってくださいね。
市民として、子育てや仕事であつという間に年月を重ね、地域の事も育成会等で参加してきたが、今は、お役に立てる事、できる事を少しでも何かできたらと思います。ボランティア募集と呼び掛けていただけたら、自分ができる事があれば参加したいと思います。
今後も積極的に行動して行きたい。やれることがあれば、是非とも協力したい。
今回、地域プロデューサー養成講座の研修に参加させていただきました。勉強になり良い制度だと思えますが、より市の支援・協力をお願いしたいと思います。これからも協力できたらと感じました。
現役世代の参加は非常に難しいので、学生や定年退職者を中心にまちづくりグループを形成して活動して欲しいです。学校や会社への広報活動を通して参加を呼びかけたら参加者が増え、市と市民のパイプ役になってくれると思います。
まちのために何かお手伝いをしたいと思っている方は必ずいると思うので、その方達へどのように参加を促すかが大切だと思います。市民協働という素晴らしいまちづくりについて、もっと盛り上がってくれたらいいなと思います。何か私もできることがあればお手伝いしたいです。

### 《市民協働・協働のまちづくりについて》

市民協働の目的、成果等を明確に示していただきたい。取り組みの強制にならないように努めていただきたい。
市民協働の推進について、私が責任者なら以下のように行います。 地域ごとに説明会開催 市民大学・高校から意見収集 分析・評価し、公表する。
協働についての説明がありましたが、かたい説明であまり理解できませんでした。『公共の利益の実現』と言っても抽象的ですし、もっと事例などを挙げて平たく説明してほしいです。
当市自治会への加入率の数字でも分かるように、市民の社会参加の意識は一般的に低いのが実態だと思います。私なども「市民協働」の実態をほとんど知らない身です。 一定年齢に達した市民に、地域の参加・協働が、これからいかに一人ひとりの実生活に大切であるかを本当に実感せしめるような、身に迫る形での策定、広報の周知が必要ではないかと思います
市の協働推進施策について、1つくらいは知っているかと思っていましたが、全く知らず、びっくりしました。この様な事は、日々暮らしている中で、どうしたら知ることができるのかと思いました。
私は、民間企業一筋で40年以上働き、未だ現役です。役所での仕事はないですが、民間も変わらないと感じています。何故なら、人間社会の塊と思うのです。上下関係は、あるでしょう。しかし、市民協働のようなひとつの活動は、上下を無くした共同作業で進めなくてはいけない。考え方も皆違うので、それを超越して取り組む姿勢が求められる。市の職員も参考にして、皆が色々な意見を出し合って考える計画立案が必要です。皆は、平等で、同じだと認識する。
皆が協力して、住みやすい街になればと思います。
長寿時代になって、地域の活動や交流に関わりたい人が多くなっているが、協働や拠点の情報が少ない。あるいは、情報が直近で、都合がつかない事がある。 市民の関われる協働行事の年間予定を年度初め、半期毎、直近に広報していただき、市民のなじみにしていただきたい。 市の登山、公民館自治会等の行事に於いては、行政と市民の交流のチャンスであるため、主催者関係者が集まって昼食等するのはやめて、積極的に市民と交流を図っていただきたい。



アンケートにもありましたが、まちづくりは、各地域毎に大変大事な事と思っています。ですが、現実にはその様な人は少なく、参加する気持ちがありながらできない人が多数いると思われます。市で積極的に市民にアピールする必要があると思います。
市（行政）として、市内各地区に共通の課題（取り組みテーマ）を示し、その目的達成の為の手段は、各地区に任せる等の取り組みをさせてはどうか。
小・中学校で、市職員や市内で農業を営んでいる方等が講師となって、相模原市についての授業を実施し、実際の相模原市に住んでいる人の生の声を聞いてもらう。その上で、子供たちに「今、自分達が協力できる事」などを考えてもらうのはどうでしょうか？
できる事からやっていく。 重点をいくつか決めてやる。
今後少子化により人口減少が進むにつれ、地域の人口増加を考えていく上で、市民協働のまちづくりの活動も、より必要になってくると思います。
自分の住んでいる場所の人達とのコミュニケーションが大切で、それがスタートラインになるのではないのでしょうか？
「市民協働」と言う、言葉が、難しく分かりにくい。 自治会加入率の低さに驚いている。これからは、高齢者の一人世帯等になると更に減少するのではと心配している。
良いまちづくりの為には、一人ひとりが市民協働の考えを持つ事と、市民活動の参加が必要であると思います。
「市民協働のまちづくり」と言われても、実際どのような活動が行われているのか実例が無く理解しづらかった。現在どのような団体があり、何を目的として、どのような活動をしているのか全く知りません。現在住んでいる所は、生活もしやすく住みやすい街です。自分の住む市がより良くなってほしいと思います。小・中学校の時から、地元を理解し、親しみを持てるような教育がもっと必要だったのかなと思います。子ども会・町内会等、地域とふれ合う機会が増せば、大人になっても、自分の育った街を良くしたいと思えるようになるかもしれません。
今、進められている相模原駅前の米軍基地一部返還地の開発において、市民の声や市民の参加でより良い新都市を作ってほしい。
多種多様な気がして、非常に難しい問題・課題だと思います。
問 23 に記載されている「協働推進のために市が取り組む施策」については、ほとんど知らなかったなので、調べて勉強したいです。特にさがみはら地域づくり大学は興味があり、問い合わせをしてお聞きしたいです。
問 24 「地域活動や市民活動を進める上での課題」において、選択肢（10）「自分たちではどうすることもできないことがある」と（12）「興味・関心がない」は、相関関係があると思います。行政と市民が協力して、住みやすいまちづくりをしていけたら、「この街は、自分たちで作った」と実感があると思います。でも実際は、自分の知らない所で見えない力が働いて、賛成も反対も言えません。それどころか意見を言う場所も方法もない。理想と現実の違いです。
「市民協働のまちづくり」...やはりまだピンときません。それなりに地域に愛着もわき、娘も小学生になり、「地域」というワードに関心はあります。でも、なんとなく漠然としていて...。広報は、地域の情報を得ることができ、見やすく好きです。それに比べ、回覧版ではほしい情報を得られる気がしません（地元面白い情報がないだけかも）。
市民個人に何らかのメリットがないと、なかなか協力を得られないと思う。

何が必要とされていて、どんな具体的な取り組みが行われているのか、いないのか、伝わっていないと感じる。もっと広報活動が必要なのではないか。

自ら情報収集しようとする人は少ないと思うので、普段の生活で自然に目につく場所にチラシやポスターを置いたり、LINE等のSNSで相模原市のアカウントを作るといいと思う。

自治会の意味も（なにかメリットがあるのか？）わからないので、まちづくりに参加など、その時点でかなり難しいかと思います。

近い将来ますます高齢化が進展するが、単年度でなく中長期的視点に立ったまちづくりの推進が必要と考える。例えば、相模原市で子育てをして、その子どもたちの多くが市内で働こうという意欲が出るまちづくりが必要である。現状のままでは、小中学生までは相模原市に住んでいても、子どもが高校生以上になると、他都市に転居しようとする状況が市内に多くある。その一つは、相模原駅南口の駅から15分以内の辺りに個人の豪邸が多すぎる。これでは再開発は進まないし、若い世代が長く住もうと思わない。他の都市から相模原に行ってみようとする動機が出ない。駅から15分以内は多くの市民が住み、またそこに来て買い物をし、公園もある等、家族で1日過ごせるような環境にすべきと思う。また、まちづくり会議のメンバーを一新すべきと思う。現在は、昔からの名士と言われる人々が市職員と場つなぎ的なことをしているようにしか見えない。

### 《その他》

引っ越して3年目。70歳 自営業です。住みよい地区と思っています。日頃できない事をやってみたい時もあり、土日にまとめて広報等をじっくり見たりします。行事等は、ウィークディの昼間に多くあり残念です。

とにかく分からないことだらけです。高齢になりましたので分かりやすく、時には、周知の面でもただ字面を並べるのではなく、アニメなど活用してほしいです。

長年相模原に住んでいて、子どもたちが小さいうちは、自治会・子ども会等地域の活動にも参加していましたが、子ども達も大きくなり、私自身仕事を始めてからは自治会もやめ、行事等に参加する事も無くなりました。私は、スーパーで働いていますが、年々一人暮らしの方を多く見かけ、皆さんが口にする事は、日々の買い物が大変だという事です。ヘルパーさん等を頼んでも自分の目で商品を見たい！と…。会議室で意見を交わす事も大切ですが、何処かの市や町でやっている出張販売などで、歩いて買物に行く事のできない人達への提供など考えてみては如何でしょうか？相模原市は大きくなり、何かを始める事が大変かもしれませんが、充実した市になってくれると良いですね。

知らない事が多い事に驚いた。もう少し丁寧に広報に目を通してみようと思った。

知らない事が沢山。勉強不足でした。すみません！！

とりあえず、 地域商店の活性化（後継者不足か？閉店する店が多い。） 車の運転免許証返納者に対する交通利便対策（車が無いと買物にも行けない。コミュニティバスの活用？利用できる地域を増やす等） 市民の高齢化と少子化による高齢者の日常生活支援等々、福祉を含め対策をお願いしたい。 生産地の後継者対策も重要ですね。

市民も高齢化しつつあります。家庭に閉じこもらず、公民館等を利用してコミュニケーションを図り、健康維持に役立てたいのですが、老人は、多くの方が年金しか収入がありません。公民館使用料も6月から徴収されます。回数の多い方は、使用料金もバカになりません。使用料の減額、または70歳以上は半額にして、利用しやすくしてもらいたいです。いつまでも健康でいられるということは、健康保険の使用も少なくなり、市の財政にも影響してくると思います。

心から市民が参加したいというものを作れば、参加者も増えるのではないのでしょうか？

退職後、様々な地域活動に参加したが、最近はその活動も似たり寄ったりではないかと思うようになった。地域住民の声を反映云々とあるが、結局はこじんまりした無難な事業が多いと思う。予算を大胆に使い、行政主導で相模原市一体となった展開が望ましい。

地域住民から挙がっている具体的な課題や悩みを解決できるようなシステムが必要だと考えます。例えば、子育てに必要な保育園等の確保、危険な道路をどのように道路整備していくか等、まちづくりの緊急の課題等が山積していると思います。速やかな解決を目指すにはどうしたら効率的に実施できるかについて知恵を絞る時期にきていると考えます。

市の職員とか市議会議員がもっと市民の意見を聞く機会を設けてほしい。